

## 草刈り機も除草剤も使わない「温水除草システム®」のご提案 『草刈り・除草ワールド 2022』に出展

10月26日（水）～28日（金）東京ビッグサイト（西展示棟）

ケルヒャー ジャパン株式会社

清掃機器の最大手メーカー、ドイツ・ケルヒャー社の日本法人、ケルヒャー ジャパン株式会社（本社：神奈川県横浜市港北区、代表取締役社長：マーク・ヴァン・インゲルゲム）は、東京ビッグサイト 西展示棟にて開催される『草刈り・除草ワールド2022』に出展いたします。本展示会では、ケルヒャーの温水高圧洗浄機に専用のノズルを装着するだけで、草刈り機や除草剤も使わない、安全で環境に優しい「温水除草システム®」をご紹介します。

繁殖力の強い雑草は、草刈り機や薬品（除草剤、農薬）による定期的な除草が欠かせません。しかし、草刈り機での除草は、飛び石や鋭利な刈刃による怪我や事故、および施設利用者のニーズや国の規定により、薬品が使用できないケースなどが発生しています。そのような除草作業の課題を解決するのが温水除草システム®です。

温水除草は、100℃近い高温水を雑草に散布することで、雑草の根のタンパク質構造を変異させ、根から枯らす新しい方法です。当社の温水高圧洗浄機に搭載しているヒートコイルボイラーは、安定した温度の高温水を作る特性があり、温水除草に最適な専用ノズルと組み合わせることで、「温水除草システム®」を開発しました。



根から枯らす温水除草は、薬品（除草剤、農薬）を使用しないため、人体や農作物、家畜に与える影響もなく、刈り取り後の雑草の回収では、枯れた雑草は大幅に量が減るため回収の工数、廃棄コストの削減にも繋がります。温水除草は、草刈りとは異なり雑草の発生を長期間抑制でき、そのため年間の除草回数を削減することも可能な革新的な除草方法です。

展示ブースでは、温水除草システム®で使用するエンジン式温水高圧洗浄機（HDS 1000 BE）、温水除草アクセサリ（温水除草ノズル4点：WR 10/WR 20/WR 50/WR 100）のほか、2023年に発売を予定する最新の芝刈り機やブロワーなどの展示も行います。ご来場の際は、ケルヒャー ジャパンのスペシャリストが温水除草システム®や具体的実証事例などを交えながらご案内させていただきます。

また、東京ビッグサイト東展示棟2ホールにて同時開催される「ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO 2022」にも出展しておりますので、本展と併せて是非お立ち寄りくださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

## 《ブース出展概要》

会期	2022年10月26日（水）～ 28日（金） 10:00～17:00
会場・出展ブース	東京ビッグサイト（東京国際展示場）西展示棟1階 西1ホール
展示予定製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エンジン式温水高圧洗浄機（HDS 1000 BE）</li> <li>・ 温水除草専用アクセサリ（WR 10/WR 20/WR 50/WR 100）</li> <li>・ 芝刈り機（LM 530/36 Bp）</li> <li>・ 背負い式フロア（LBB 1060/36 Bp）</li> </ul>
ウェブサイト	<a href="https://jma-agro.com/wsw2022_outline/">https://jma-agro.com/wsw2022_outline/</a>

## 《キャンペーン概要》

期間	2022年10月26日（水）～ 12月23日（金）受注分まで ※限定台数に達し次第、終了いたします。
対象	温水除草システム®スターターセット -ガソリンエンジンモデル：限定30セット -ディーゼルエンジンモデル：限定20セット



WR 50

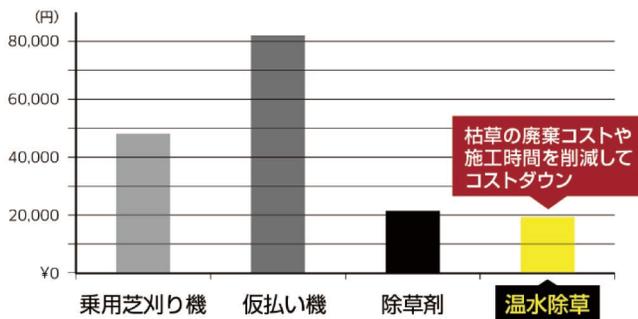


HDS 1000 BE

## 《温水除草システム®の導入メリット》

- 1) 除草回数を削減・コスト削減
- 2) 作業効率の向上
- 3) 環境への負荷がない

### 1,000m<sup>2</sup>当たりの除草施工費比較（当社調べ）



### 《《 温水除草前

石畳のすき間に背の低い雑草や苔、タンポポが生えています。

### 温水除草後》》

1週間が経過した様子。雑草は枯れ始め、その大部分が雨風によって除去されています。



詳細はこちら: <https://www.kaercher.com/jp/professional/high-pressure-cleaners/hot-water-high-pressure-cleaners/weed-removal.html>